

表 5 - 5 ボツワナの医療機関

機関	医療従事者	主なサービス	施設	立地条件	件数 (1995年)
移動診療所	看護師(看護婦)2人	医療相談と処置。	1トトラックで最寄りの診療所から月1、2回巡回。	人口500人以下	
家庭福祉相談員 (FEW) 制度	家庭福祉相談員 (医療の基礎訓練を受けた村人)	予防普及、簡単な処置。	-	(診療所がある村にも配置)	
ヘルス・ポスト	看護師(看護婦)2人	FEW仲介。予防業務(家族計画・健康教育、栄養、育児、学校保健)、初期治療、移動診療所業務、患者発見とフォロー	診断室、処置室、倉庫の3室	村落部15km以内に500-1000. 主要村と町は4000-8000人	360
診療所/産院が 付属した診療所	常勤の看護師2人	予防業務、一般的な病気の診断と治療、簡単な検査分析、患者発見とフォロー	診断/処置室、薬局/製薬室、倉庫。(分娩室) 職員住宅	村落部5000-10000人 主要村と町は10000人以上	209
ヘルス・センター		診療所と同様の業務に加え、診療所とヘルスポストの管理指導、患者ケア、検査分析、X線、外科治療	分娩室・産婦室4-12床、診察室 治療室15-58床。及び診療所と同様の外来患者用設備	地域のニーズによる。主に村落部と遠隔地に設置。	
地方病院		ヘルス・センターと同様の業務に加え、重病の専門家、治療、予防、入院患者措置	70-140床	主要な村と町、利用圏35000-10万人	14 (総合病院)
国立病院		地方病員と同様の業務に加え、難病の専門家、高度に専門的な医療機器	400床以上	首都	1

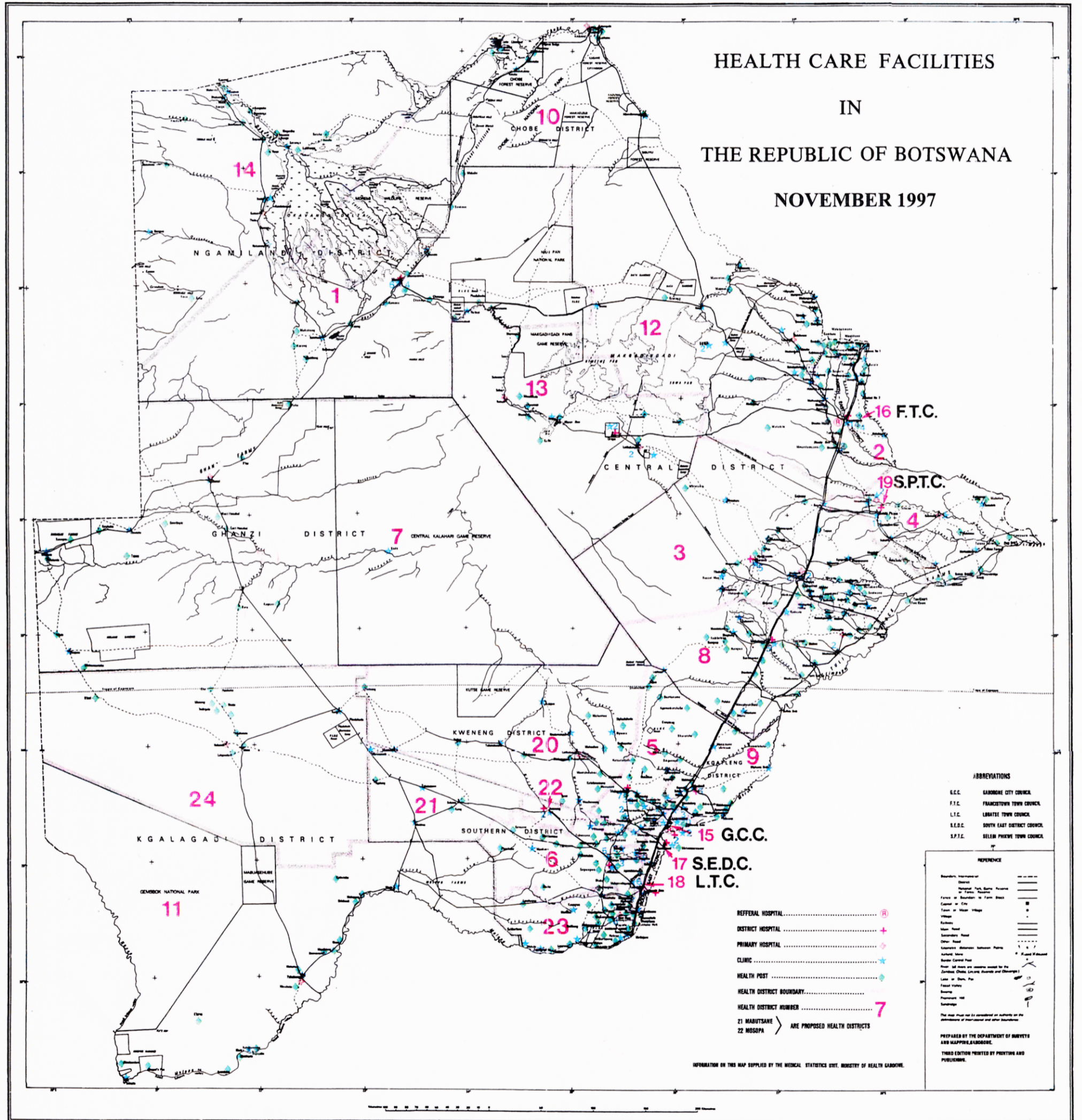


图 5-6 THE REPUBLIC OF BOTSWANA

(3) 通信機関

郵便局は「人口3,000～6,000人あるいは20～40km²で、経済成長が見込め、学校や医療機関があるような、潜在的なビジネスの可能性のある地区」に設置されている。郵便局の業務は日本と同じく、一般的な郵便業務・為替・貯蓄である。1997年には全国で85以上の郵便局が町と中規模の人口を持つ主要な村で業務を行っていた(図5-7)。郵便局が設置されていない地域でも、55地区で郵便事業団postal agencyが簡単な業務を行っている。

電信電話業務はBTCが担当しており、主要幹線沿いにマイクロウェーブ網を設置している(図5-8)。電話は幹線だけでなく、村落部にも広がりつつある。1994年には130村で最低限のサービス(公衆電話、中学校や診療所への設置など)が開始された。電話サービス供給の基準は、「最低人口500人」である。

また、南西部の南アフリカとの国境の村ツァボングとハボローネの間では短波無線を使い交換手を通した電話もあり、遠隔地にいる農民、政府機関職員、医師は「ラジオ・コール」と呼ばれるこのシステムで連絡を取り合っている。近年では携帯電話が急速に普及しているが、幹線を離れた村落部ではまだほとんど利用できない。

5 - 6 住民の教育レベル

(1) 教育

“Education Statistics 1997”によると、1998年の初等学校の就学者数は32.3万人である。7～13歳児の人口に対し小学校に入学した児童の割合(ネット就学率)は98.4%に達するが、中退者が多く再入学する児童もいる。中等学校の主就学者数は約14万人である。1986年入学者数を100%とした場合、初等教育7年目で95.3%、中等教育前期2年を経過した1993年には79.7%であった。その後は就学者数が低下し、中等教育後期最終学年の1997年には29.7%となっている。

政府は全児童が9年間の基礎教育を受けられるよう努力しており、1997年には初等教育を終えた児童のうち95.3%が中等教育に進学している。男児は昼間牧牛に出ることがあるため、女児の方が若干就学率が高い。1997年と1998年の間に初等学校の就学率は0.3%上昇した。

中等教育後期には職業教育も含まれている。政府系の学校government collegeが3校、技術教育を行うV.T.C.'sが5校、職業訓練学校Brigadeが31校、ほかに医療訓練学校が7校で、計8,800人が学んでいる。V.T.C.'sとBrigadeは同じような訓練科目を持ち、就学期間は2～4年(原則として16～26歳)である。

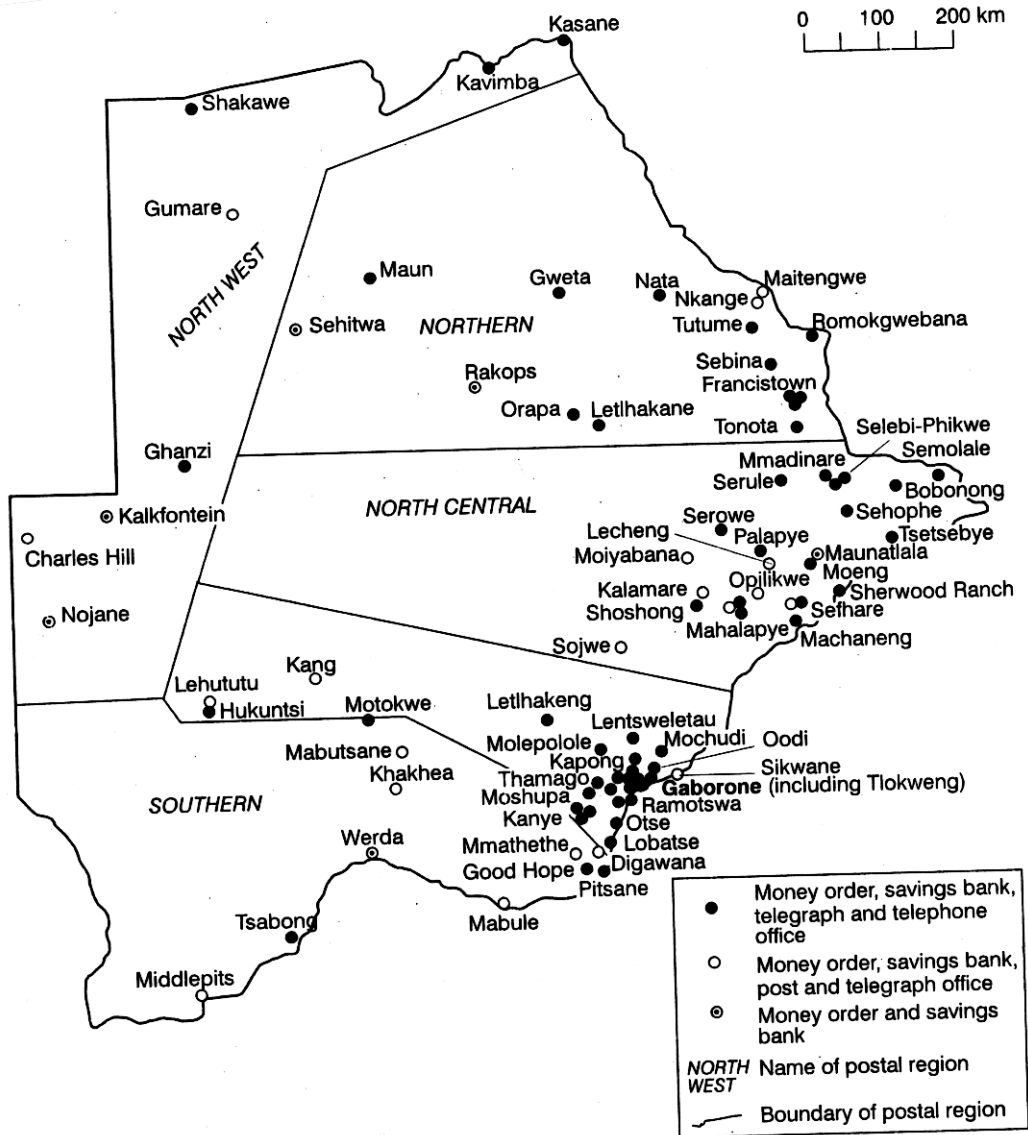


图 5-7 1996 年邮政局分布图。